

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 380 事業名 感染症予防事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
	事項		感染症予防事業	

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年		~
関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
担当課・担当課長 (Tel)	総務企画課	瀬崎 典男 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	感染症の予防活動を行い、個人や学校・施設及び医療機関での発生予防及びまん延防止を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 和歌山市内に感染症患者が発生した場合、積極的疫学調査を実施し、感染の原因や感染経路、今後の拡がり等を究明し予防対策を行う。 市民・学校・施設・医療機関等、情報を求めるニーズに応じた情報提供（HP・FAX・メール・通知文等）やポスター・研修会等を通じ啓発を行う。 感染症発生時に疫学的な解析を行う疫学調査員に対し、国の研修会や症例の検討会を通じ対応能力の向上を図る。 法に基づいた発生時の行政対応（入院勧告・就業制限・消毒命令等） 				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		1 市民及び学校・福祉施設等感染症の発生及びまん延防止のための研修会の実施やチラシ等作成配布（今年度は新型インフルエンザに特化した形で実施） 2 患者発生時、積極的疫学調査を行い、感染症の発生動向及び原因を明らかにし、感染症の発生を予防し、又、蔓延を防止した。161件実施（新型116件・新型以外45件） 3 感染症診査協議会を24回実施	感染症のまん延を防止するため、感染症患者に対し、医療に関する必要な措置や対応（入院勧告・措置、就業制限等）を行い、また患者の家族等接触者に対し、健康診断受診の勧告を行い、実施した。さらに、感染症の発生及び原因の調査を行い、予防のための情報提供や普及啓発を実施した。 1 感染症患者報告数 一類感染症0人・二類感染症0人・三類感染症7人・四類感染症10人・五類感染症（全数把握疾患）12人（新型インフル以外）	感染症のまん延を防止するため、感染症患者に対し、医療に関する必要な措置や対応（入院勧告・措置、就業制限等）を行い、また患者の家族等接触者に対し、健康診断受診の勧告を行い、実施した。さらに、感染症の発生及び原因の調査を行い、予防のための情報提供や普及啓発を実施した。 1 感染症患者報告数 一類感染症0人・二類感染症0人・三類感染症7人・四類感染症10人・五類感染症（全数把握疾患）12人（新型インフル以外）	感染症のまん延を防止するため、感染症患者に対し、医療に関する必要な措置や対応（入院勧告・措置、就業制限等）を行い、また患者の家族等接触者に対し、健康診断受診の勧告を行い、実施した。さらに、感染症の発生及び原因の調査を行い、予防のための情報提供や普及啓発を実施した。 1 感染症患者報告数 一類感染症0人・二類感染症0人（結核を除く）・三類感染症5人・四類感染症4人・五類感染症（全数把握疾患）16人	

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	2,212	2,289	2,888	1,191	679	510	494			494	
	伸び率 (%)	-	-	30.6%		-76.5%						
	人件費	常勤職員	6,598	9,279	9,279	11,405	9,279	11,476	9,279			9,279
		非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0			0
		小計	6,598	9,279	9,279	11,405	9,279	11,476	9,279			9,279
	国庫支出金	325	225	200	126	248	191	122			122	
	県支出金											
	市債											
その他			11									
一般財源（税等）	1,887	2,064	2,677	1,065	431	144	372			372		
所要人数	常勤職員	0.86	1.21	1.21	1.51	1.21	1.52	1.21			1.21	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0			0	

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	感染症発生対策研修受講者数	年度目標値				1	1	1	1	1
		実績値				1	1	1		
	単位	人	全体目標値	1	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
		回	全体目標値	10	全体目標達成度	60.0%	200.0%	140.0%	60.0%	
	研修会等開催回数	年度目標値				10	10	10		
		実績値				20	14	6		
	単位	回	全体目標値	10	全体目標達成度	60.0%	200.0%	140.0%	60.0%	
		回	全体目標値	10	全体目標達成度	60.0%	200.0%	140.0%	60.0%	
	成果指標	疫学調査率（疫学調査数／患者数）					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
年度目標値						100	100	100	10	10
		実績値				100	100	100		
単位		%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
		%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
年度目標値										
		実績値								
単位		%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
		%	全体目標値	100	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	法定受託事務のため、現状のまま維持継続する。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	